

リハビリテーション科

1. 概要

リハビリテーション科の診療はリハビリテーションセンターと、院内各病棟のベッドサイドで行っている。

外来診療は、市内の病院・医院では行っていない小児の運動・言語発達遅滞及び神経難病を中心として行う。また、当院入院中のリハビリを外来で継続する場合もある。

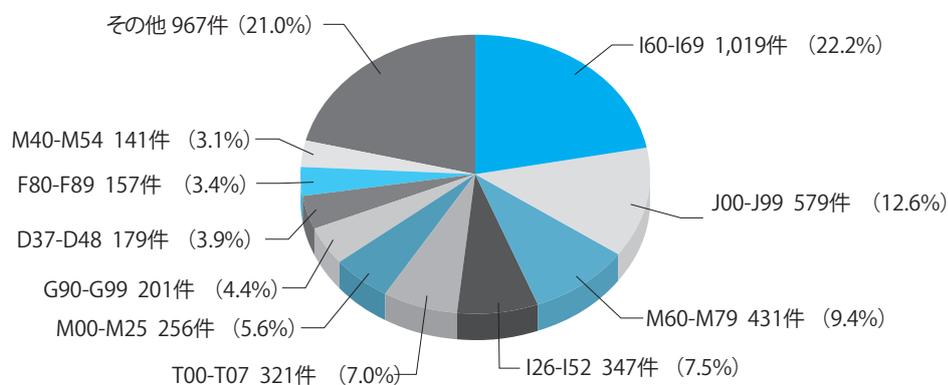
入院診療は、脳卒中、頭部外傷、脳神経や脊髄神経の疾患の脳血管リハビリ、骨・関節の外傷や疾患への運動器リハビリ、心筋梗塞・狭心症や心不全の心大血管リハビリ、肺炎や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器リハビリ、また嚥下障害に対する嚥下リハビリを行っている。当院では、急性期リハビリが中心であり、地域連携パスを通じて回復期リハビリ病棟を持つ病院に転院できるシステムが整えられている。

2016年には、がん治療目的に入院されている方への個別療法であるがん患者リハビリに対応可能なスタッフを増員した。また、入院患者の日常生活動作を維持・向上するためのリハビリ体制構築を準備している。

(部長 石川 知志)

2. 新規登録疾患

総数：4,598件



ICD-10 中間分類項目
I60-I69：脳血管疾患
J00-J99：呼吸器系の疾患
M60-M79：軟部組織障害
I26-I52：循環器系の疾患
T00-T07：多部位の損傷
M00-M25：関節障害
G90-G99：神経系のその他の障害
D37-D48：性状不詳または不明の新生物
F80-F89：心理的発達の障害
M40-M54：脊柱障害

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 5,010人

学会発表（医局）

<リハビリテーション科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	腰椎椎間孔部狭窄症の神経伝導検査で偽陰性を示した症例の検討	筆頭演者	石川 知志	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会	京都市	2016/6/9

座長・司会（医局）

<リハビリテーション科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題 メディカルチェック1	石川 知志	第27回日本臨床スポーツ 医学会学術集会	千葉市	2016/11/6